NEWS RELEASE

東京建物

平成 26 年 9 月 30 日

報道関係各位

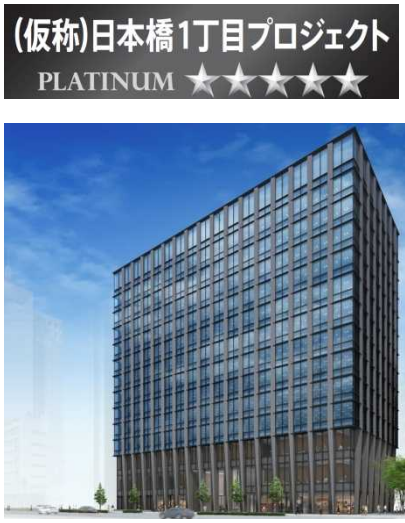
東京建物株式会社

「（仮称） 日本橋 1 丁目 PJ」
㈱三井住友銀行「SMBC サステイナブルビルディング評価融資」「プラチナ」評価を取得

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：佐久間 一）は、代表企業として開発している「（仮称） 日本橋 1 丁目 PJ」（東京都中央区）において、株式会社三井住友銀行（本社：東京都千代田区、頭取：國部 毅）による「SMBC サステイナブル ビルディング評価融資」にて「プラチナ」評価を取得したことをお知らせします。

「SMBC サステイナブル ビルディング評価融資」は、三井住友銀行と CSR デザイン＆ランドスケープ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：平松 宏城）が作成した独自の評価基準に基づき、企業が保有・建設するビルディングにおけるサステイナビリティ（持続可能性）を評価するものです（運用開始：平成 23 年 11 月）。

今般、「（仮称） 日本橋 1 丁目 PJ」が、特に「サステイナブル経営の方針」「エネルギーと大気」「室内環境」「リスク管理」の項目において非常に高い水準であると判断され、「プラチナ」評価を取得しました。



＜建物外観（イメージ）＞

＜日本橋交差点側（イメージ）＞

【特に評価されたポイント】

①企業として環境に配慮した不動産開発の方針を策定・公開し、LCC や $LCCO_2$ の視点を取り入れ、不動産のライフサイクル全体の経済性を考慮した長期的な開発をおこなっている

②Low-e ペアガラスの採用と庇や外部柱型による日射遮蔽や、LED 照明やデシカント空調の採用により、使用エネルギーの大幅な削減を実現している

③敷地内の広場に高木などの植樹による緑環境の確保や、集中雨水処理対策として自主的に雨水貯留槽を設置するなど、持続可能な敷地利用を推進している

④利用者の嗜好により、調節が可能な機能を取り入れるなど、室内環境の快適性の確保に配慮している

⑤免震構造の採用に加え、電力対策や浸水対策など BCP、BCM に向けた幅広い対応策を採用している

東京建物では、グループ環境方針「緑あふれる潤いのある街・暮らしの創造」「地域をリードする温暖化防止」「地域に優しい省資源活動」「環境意識の高い社員づくり」のもと、今後も持続可能な社会づくりに向け、環境に配慮した事業活動を進めてまいります。

＜計画概要＞

計画地	東京都中央区日本橋一丁目3番2ほか
用途	B1階、1階　：　店舗 2階、3階　：　多目的ホール 4階～13階　：　オフィス
敷地面積	約2,277㎡
計画容積率	約1,000%
延床面積	約23,000㎡
構造/規模	鉄骨造・鉄筋コンクリート造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造） 地上13階地下2階　塔屋2階
最高高さ	約56m
設計	大成建設株式会社一級建築士事務所
設計・監理	株式会社日本設計
施工	大成建設株式会社
着工	平成25年9月
竣工	平成27年2月（予定）

※ 計画概要は今後変更となる可能性があります

以　上